

### Ⅲ 魚類防疫対策事業

小川 健・木村 創

#### 目 的

魚類防疫対策事業実施要領（1989年9月，水産庁）による。

#### 事業の内容と結果

##### 1 魚類防疫対策事業

###### 1) 魚類防疫対策

本年度の実施状況は表1に示した。

表1 魚類防疫対策実施状況

###### (1) 魚類防疫会議

年月日	会議名	場所	備考（議題等）
'92. 9. 24	第16回全国魚類防疫推進会議	東京	水産用医薬品をめぐる動き，魚病発生動向，未侵入寄生虫症の防疫
'93. 2. 5	第17回 //	//	平成5年度水産庁魚病関係予算の概要
'92. 4. 22 23	南西海ブロック魚類研究会	広島	平成3年度魚病発生状況と問題点，マダイのイリドウィルス感染症，寄生虫症の症例
'92. 4. 20	県内防疫会議	串本	平成3年度魚病発生状況，マダイのイリドウィルス感染症についての対策
'92. 7. 9	地域防疫検討会	神谷	同上
8. 6	//	串本	//
8. 20	//	堅田	//
9. 17	//	浦神	//

###### (2) 養殖魚巡回健康診断

実施時期	実施地域	内 容	考
'92. 4. 8	北部海域（戸津井，神谷） 中部海域（田辺，白浜） 南部海域（串本，大島）	養殖魚の斃死，摂餌遊泳状況等による健康診断と魚病の治療，予防についての指導	
'93. 3. 31	東部海域（浦神，勝浦）		

###### (3) 魚病講習会

年月日	場所	内 容	備 考
'93. 3. 10	串本	海産魚の寄生虫症について	講師：東京大学農学部 小川和夫博士 出席者 30名

2) 水産用医薬品指導

指導状況は表2に示すとおりであった。

表2 水産用医薬品指導状況

(1) 医薬品適正使用対策

年月日	場所	内容	備考
'92. 8. 25	串本	説明会	エラムン症対策における医薬品の使用について出席者28名
'92. 4. 8 '93. 3. 31	県下各 養殖地域	巡回指導	戸津井, 由良, 田辺, 白浜, 串本, 大島, 浦神勝浦で医薬品の適正使用を指導

(2) 医薬品残留検査(財団法人日本冷凍食品検査協会神戸事業所に委託)

魚種	検体採取		検査対象医薬品	検体数	結果
	年月日	場所			
ブリ	'93. 1. 28	東部	塩酸オキシテトラサイクリン	5	残留なし
	1. 29	中部	オキソリン酸	〃	〃
	2. 4	〃	〃	〃	〃
	2. 8	〃	〃	〃	〃
マダイ	'93. 1. 28	東部	塩酸オキシテトラサイクリン	〃	〃
	1. 29	中部	〃 〃	〃	〃

2. 特定魚類防疫強化対策事業

1) 特定魚類防疫強化対策

(1) 魚病発生防止対策

ア 養殖場の定期観測

毎月1~2回, 各地域の養殖漁場1~3カ所で水温, DO, 海水比重および透明度を測定した。

イ 魚病情報の収集・伝達

マダイのイリドウィルス感染症, シマアジ稚魚のウィルス性神経壊死症, ヒラメのビルナウィルス感染症, 海産魚の寄生虫性疾病, および県内, 各県魚病発生状況について, 養殖研究所, 南西海区水産研究所, (社) 日本水産資源保護協会, 関係県, 県内養殖業者および関係漁業協同組合等の間で情報を収集・伝達した。

(2) 魚病発生時の緊急対策

ア 緊急対策の内容

'92年9月上旬に南部海域(串本町袋漁場)で発生した養殖マダイの白点病に関して, 養殖筏の沖出し, 移動を指示した。

(3) 防疫対策定期パトロール

各養殖地域を月1~2回パトロールし, ブリおよびマダイの健康診断および魚病の予防治療についての指導ならびに防疫監視を行ない, 魚病発生の未然防止に努めた。

(4) 種苗魚病検査

ブリおよびマダイの養殖用種苗を対象に実施した。

ブリではビブリオ病 2 件，類結節症 3 件，細菌感染症 1 件でいずれも病原菌が分離された。

マダイではビブリオ病 3 件，ビブリオ・滑走細菌合併症 2 件，エラムシ症 2 件，イリドウィルス感染症 7 件，リンホンスティス症 1 件および不明 1 件で，細菌・寄生虫症は病原体が分離・検出できたがウイルス性疾病については外観症状とイリドウィルス感染症では脾臓のスタンプ標本の異形肥大細胞の観察によって判断した。なお不明の 1 件は，体表からビブリオが分離されたが斃死原因とは考えられなかった。